

第19回症例検討会 研修会報告

日 時	2024年9月1日(日) 10:00~12:30
開催方法	Zoomミーティングを利用したオンライン開催 (ブレイクアウトルームによるグループワーク)
テ ー マ	SGD(スモール・グループ・ディスカッション)による症例検討 明日からのトレーニングレポートに活かせる！ がん患者さんとのコミュニケーション術
講 師	神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 吉野 新太郎 先生
受講資格	現役の薬剤師
受講者数	7名(内、本学学生1名)
認定単位	1.5単位

【内 容】

講 義①：カペシタビンとレジメンについて	15分
症例提示①	5分
SGD(スモール・グループ・ディスカッション)①	10分
プレゼンテーション①	5分
解 説①	5分
講 義②：大腸癌について	10分
休 憩	10分
講 義③：トレーニングレポートの書き方と聞き方について	10分
症例提示②	5分
SGD(スモール・グループ・ディスカッション)② (トレーニングレポートを書く)	40分
プレゼンテーション②	10分
解 説②	5分



※受講生の画像は
モザイク処理をしています。

【研修風景】

当日は講師、ファシリテーター及びエクステーションセンター教職員がZoom本部（本学A棟1階レセプションルーム）に集結して研修会を運営いたしました。



講師

神戸市立医療センター中央市民病院
薬剤部 吉野 新太郎 先生



ファシリテーター

まこと薬局
黒田 泰司 先生



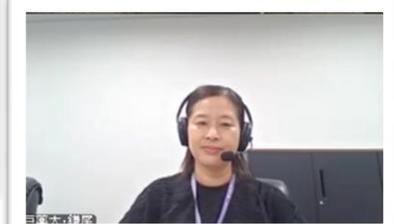
ファシリテーター

幸生堂薬局
管理薬剤師
宮武 真也 先生



ファシリテーター

東住吉森本病院
薬剤部 臨床薬剤科
科長
佐古 守人 先生



ホスト

神戸薬科大学
エクステーションセンター 講師
鎌尾 まや 先生



【アンケート(抜粋)】

- ◆病名告知の有無がわかっていなくても、手術部位や副作用から病名をアプローチすることが知れたのがよかった
- ◆内容をかなりわかりやすくまとめて下さり、フォローもしっかりして下さっていたので発表もしやすかったです。とても業務に生かしやすい内容でした。ありがとうございました。
- ◆テレフォンフォローアップは 質問の内容と どのような状態なら経過観察、こんな症状なら早めに受診していただくなど 予め準備しておくことが重要だと思いました。
- ◆勤務先が、今回の内容の目的には直接関係していないので、直ぐには役立てられません。が、今の最先端の薬剤師の活動を知る事が出来ました

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



神戸薬科大学
Kobe Pharmaceutical University



神戸薬科大学エクステーションセンター